

資本主義は社会主義に必ず変わる

『空想より科学へ社会主義の発展』に学ぶ

第1回 東京ブロック

今こそ、社会発展の法則を学ぶとき

この「みんなの学習講座」では、マルクス・エンゲルスの古典から学ぶために、2017年1月号から12回で関東の仲間が『共産党宣言』を、18年1月号から四国の仲間が『賃労働と資本』を12回連載し、学び合っていました。

この1月号から12回で『空想より科学へ—社会主義の発展—』を東京の仲間たちが担当し、学習していきます。

せいしん

司会IIまず本書に入る前に、「社会主

義」というものをどのように思っているか、率直な気持ちをお聞かせください。

WII私は、1966年に国鉄に入り、先輩たちに勧められるまま労働組合運動などを一緒に行なってきました。

70年代は労働運動も政治闘争も高揚期であり、美濃部都知事や飛鳥田横浜市長など革新首長が多く誕生し、73

年からは国民春闘路線へと躍進し、74国民春闘は「反インフレ共闘」「年

金スト」を官公労も民間も史上最大のストライキで闘い、今では考えられない32%、2万8500円の賃上げ、

初任給でさえ1万円以上の賃上げを勝

取ることができて、「社会主義の足音が聞こえる」と思った人たちが多くいました。

SI11968年頃からベトナム戦争反対運動がベ平連（ベトナムに平和を！市民連合の略称）を中心に展開されるようになりました。そういう中で、現在のJR御茶ノ水駅周辺の日本大学、明治大学、中央大学の急進的學生を中心とした「学費値上げ反対」「ベトナム戦争反対」という反戦學生運動が火炎びん・投石デモで展開され、東大における紛争で見られるような大学占拠事件へ発展していきました。



車道一杯に広がるベ平連のフランスデモ

この闘争の始まりの頃、私は高校2年であり、同級生が日大闘争に参加して検挙され3週間拘留される事件もありました。

多くの学生・青年労働者が反戦平和の政治闘争に参加し、ベトナム反戦運動の盛り上がりとなり、1971年72年、国鉄反マル生闘争が全国的に

展開され、アメリカ原子力空母エンタープライズの佐世保寄港反対アメリカ軍用燃料輸送反対闘争などが展開され、国鉄の車両には白ペンキで反対スローガンが堂々と書かれていた。反戦運動と労働組合運動とが結びつき大きな闘いへ発展していました。

都内では明治公園をはじめ代々木公園でも大衆集会が開催され、労働組合の青年労働者を中心に毎日のようにデモを展開していました。

これらのデモに対し、国家権力は警察の機動隊をジュラルミンの盾などで重装備させ、デモ隊への挑発を繰り返してきました。その盾によりデモ隊への弾圧を強行し、公安条例違反、公務執行妨害罪で不当逮捕するという抑圧を展開しました。真にデモは警察（国家）権力との闘いでありました。

GII当時私は活動に積極的でなかったから実感はないが、当時から活動していた先輩たちに聞くと、「ベトナム戦争反対！」「70年安保改定反対！」など政治的課題の集会を労働組合が積極的に取り組み参加して、国家権力と対峙した。集会後は必ず居酒屋で職場のこと、政治のことなど一緒に参加した仲間たちと飲み交わし、大いに盛り上がり社会の変革論議をした、と言っていました。

SAII私は75年に18歳で入社したので、70年代前半の運動も知りません



スローガンの書かれた国鉄（当時）車両

し、74春闘の賃上げの恩恵もあまり受けてないと思います。

しかし、私の周りには、確かに当時は、社会主義青年同盟に入り、日本社

会党に入って活動していた先輩も多かったです。

でも、80年代以降に労働運動が後退して、89年、総評の解散・連合の成立、91年のソ連邦・東欧の社会主義国の崩壊が進み、日本社会党の解党などで、展望を見失い、運動から遠ざかった方々を多く見てきました。

後輩たちは 今の社会をどう見る

司会Ⅱ 私たちの後輩、30歳代や40歳代の仲間たちは、どう思っているだろうか？

MⅡ職場の後輩たちを見てみると、総評・社会党が健在だった時と知らなければ、ストライキの経験もありません。

今、私の職場では嘱託社員制度が導入され「非正規社員雇用はおかし

い！」「なぜ待遇が違うのか！」との不平・不満はありますが、社会の矛盾が原因だとは思っていません。

HGⅡ私の息子も頑張れば報われると思いい、マクドナルドで働き続けてきました。当初は、夏・冬のボーナスが1〜2カ月位出たようです。本人は頑張りと、サブマネージャー、マネージャーと昇りつめました。08年のリーマンショック後にフランチャイズ化を加速し、ボーナスは最後にはなくなりました。

30歳代になり転職のラストチャンスと思いい、今は高速バスの運転士として働いています。息子の思いいは、一定程度の収入が安定的に確保できるか、時間外の保障はされているか、手当などが付いているかなどが判断材料のようです。

だから、今の社会（資本主義社会）をどう見るかなど、正直話し合っていない。



◆今すぐ最賃1500円! 東京・新宿で街頭デモを行うAEQUITASの仲間

SAII友人Sさんの娘Aさんは、旅行会社Kに勤めていました。旅行会社なのに、秋には「ボジョレーヌーボーを売れ」と言われ、暮れには「クリスマスケーキの予約を取れ」と言われる。

家族だけではノルマを達成できないと、私たちが協力して買いました。また、全国交流集会や個人的な旅行等もAさんに頼み契約件数や売り上げはトップクラスでしたが、人事異動の発令の度に、自宅から遠い営業所へ異動が繰り返されました。また、正社員登用試験を受けても正社員になれないだけでなく、営業所では勤続年数が重なり、先輩の正社員を指導する立場になってきました。

ノルマと責任は持たされるが、何年働いても正社員になれず、展望が出ないと親に相談して転職しました。今日、こういう若者が多いと思います。

立上がる女性・若者

司会II日本の就労人口の4割以上が非正規労働者と言われている

ます。その大半が、女性労働者と若年労働者です。労働組合もなく、労働基準法すら守られず、セクハラ・パワハラで人権が踏みにじられて、駆け込み寺的にユニオン等に労働相談に来る若者が増えていますね。

SAII昔は、労働委員会調停は地方労働委員会も中央労働委員会も企業別労働組合あるいは産業別労働組合と企業側・雇用主との紛争や調整が主でした。近年、日本も新自由主義政策が進行すると、個人争議、地域ユニオンの関係が多くなっています。

TGII今やブラック企業があたり前のように大手を振ってまかり通る社会になつてしまいました。逆に言えば、私たち自身がするようにしてしまつたということですね。

司会IIその総括については、後ほどじっくり行いたいと思います。

アキラメさせられている若者だけでなく、何が原因だかわからなくても、

所得統計を見れば格差が拡大してきている。また頑張つて働いてもまともな生活が保障されないのはおかしい！と思つている若者は近くにいませんか。HGⅡ労働者の最低賃金を1500円に引き上げを求める運動をしているAEQUITAS（エキタス）という若者グループが、毎年、春と秋に東京・新宿で「今すぐ、時給1500円よこせ！」と街頭デモを行なっています。最低賃金が1500円と聞けば「高すぎ」とも思えるが、一日8時間の週休二日制で働いた場合の月収は24万円、年収にすると280万円ほどとなり「ぶつう」という感想を抱くはずです。

でも、時給1500円と聞くと高すぎる！と思える私たちの常識的な観念の方が間違つていたんですね。

GⅡ私の後輩たちは、今日、K電鉄労働組合が労使協調になり、職場に労働組合がなくなった。はたらく者があるもの

を言えなくなっている。職場に労働組合を取り戻すために、若者3人が労働組合役員選挙に立候補して闘った。

会社の役員や末端職制までが大変注目し、私たちの時代にも組織介入があり、今回も考えられる。そのような状況でも「おかしいことをおかしい」と発信し、労使協調に風穴を空け、「合理化反対の声」を組織し、5百数十名の有権者の内で彼らは1200〜137票を得票した。次への足掛かりを掴んだ、と自信を得ています。

怒れるアメリカの若者

司会Ⅱ資本主義の盟主と言われるアメリカ合衆国で、社会主義者を自任する若者が増えているようですね。TGⅡアメリカで！そんなことがあるの？

SⅡ毎日新聞記者・国枝すみれ氏の取材記事が昨年8月23日付毎日新聞

朝刊二面にわたり出ていました。その記事によれば、「怒れる若者・社会主義旋風」という見出しで、アメリカ中西部シカゴのホテルで2018年7月5〜8日、マルクスの革命理論や組織化のノウハウを学ぶ勉強会「社会主義2018」（国際社会主義機構〈*1〉が主催団体）が開催されました。

この勉強会に、右傾化するトランプ政権を止めることができない野党民主党に対して、怒れる若者たちが事態の解決の「答え」を社会主義に求めようとして、全米から約1700人が参加した。彼らはゼネストやデモで政策を変更させた1968年のパリ5月革命〈*2〉を模範として、ゼネストやデモによる大衆運動によつて社会を変革することを目指しています。

二面の見出しには「将来不安急進化」とあり、このような若者が生まれる背景として、記事に取り上げられていたことは、アメリカ連邦準備制度理

◆みんなの学習講座



「We are unstoppable. Another world is possible」

(我々は止められない 別の世界は可能だ)

事会の統計（16年）によれば、富裕層の上位10位がアメリカの総資産の77・2%を保有し、残る22・8%の資産を9割の国民で分け合う状態が示すようにアメリカ社会を支えてきた中

産階級が没落し、格差が拡がっていることを示しています。

欧米で民主主義制度に対する信頼が低下していることを警告してきたハーバード大学ヤシヤ・モンク講師（政治学）は、このような若者たちの動きに対して、労働組合の組織率が史上最低の10・7%（17年）も落ち込んでいる現在のアメリカで、『ゼネストが成功すると考える者がいるとすれば、物笑いの種になる』さらに、このような急進左派の台頭はかえって、極右を力づけ結束させ、中間選挙で民主党が敗北したらどうなると強い危機感を示しているというものでした。

*1 国際社会機構とは、トロツキズムを標榜し、第四インターナショナルの一派でイギリスの社会主義労働者党が率いる国際社会主義潮流に加盟している。

*2 1968年5月 フランスのパリの学生がド・ゴール政権の教育政策に反発して暴動を起こしたのを契機に、全土で・

ゴール退陣要求が強まった。

T G II 知らなかった。あのアメリカ国内で、1700人も若者が集まり、社会主義について報告や意見交換を交わしているとは。

U II 2年前の大統領選挙時に現れたサングラス現象は、彼らのような若者たちに後押しされた。

S I II 18年11月6日に行なわれたアメリカ中間選挙では、トランプ大統領の政権運営に対する批判が出て、19歳〜29歳の若者、女性の72%が民主党左派を支持したといわれています。確かに反撃が始まっています。
司会IIありがとうございます。

次回は、そのアメリカの裏庭と言われる中南米・ラテンアメリカのキューバ共和国とベネズエラ・ボリバル共和国が、社会主義社会建設に向けて着実に前進している姿から学びたいと思います。